

Akashi College		Year	2018	Course Title	フランス語
Course Information					
Course Code	0067		Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Architecture		Student Grade	4th	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	藤田祐二 / 『パスカル・オ・ジャポン』 / 白水社				
Instructor					
Course Objectives					
近年のグローバル化の流れの中で、多言語主義、多文化主義的観点がますます重要になってきている。国際化によって世界が一様になるのではなく、種々雑多な文化の共存が必要となる。異文化の学習の最良の方法は、言語の学習であるという観点から、フランス語の学習を通して、多文化・多言語共存社会への対応に慣れていくようにする。					
Rubric					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1		フランス語のしくみを学習することで、フランス語運用能力の基礎を身に付けることができる。	フランス語のしくみを学習することで、フランス語運用能力の基礎を身に付けることができる。	フランス語のしくみを学習することで、フランス語運用能力の基礎を身に付けることができない。	
評価項目2		フランス語の語彙を学習することで、フランス語運用能力の基礎を身に付けることができる。	フランス語の語彙を学習することで、フランス語運用能力の基礎を身に付けることができる。	フランス語の語彙を学習することで、フランス語運用能力の基礎を身に付けることができない。	
評価項目3		フランス語の学習を通して、多文化・多言語共存社会に対応できる。	フランス語の学習を通して、多文化・多言語共存社会に対応できる。	フランス語の学習を通して、多文化・多言語共存社会に対応できない。	
Assigned Department Objectives					
学習・教育到達度目標 (A) 学習・教育到達度目標 (B)					
Teaching Method					
Outline	フランス語によるコミュニケーションの基礎を学習する。フランス語のしくみ、いわゆる文法には約束事がたくさんあり、綴りと発音の関係、名詞の性に関する規則、動詞の活用など、一見複雑そうであるが、ある程度習熟すると、突然視野が広がってくるものであり、少ない語彙でかなり高度なコミュニケーションも可能となる。自己紹介の仕方、時候の挨拶など日常会話の基礎的な表現を学習しながら、「聞き、話し、読み、書く」の4技能のバランスのとれた修得を目指す。				
Style	文法・語彙の説明後、練習問題を通して運用能力の習得を目指す。				
Notice	外国語の学習には、学習者が本来持っているコミュニケーション能力と想像力を最大限に駆使することが大切であるため、授業への積極的な参加が必要である。また、予習より復習に時間を割いて欲しいと考えている。 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/4以上の欠課				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	ガイダンス：授業の進め方	授業の概要を理解することができる。	
		2nd	フランスとフランス語に関する一般的な説明 テーマについて学習する	フランス語の一般的な特徴を理解することができる。	
		3rd	国籍を言う テーマについて学習する	動詞の活用の基礎を理解することができる。	
		4th	名前・職業を言う テーマについて学習する	動詞の活用の基礎を理解することができる。	
		5th	フランス語の発音と綴り字の読み方 テーマについて学習する	綴り字と発音規則の基礎を理解することができる。	
		6th	持ち物を尋ねる テーマについて学習する	名詞の性の規則の基礎を理解することができる。	
		7th	趣味を語る テーマについて学習する	名詞の性と冠詞の規則の基礎を理解することができる。	
		8th	既習内容の復習 テーマについて学習する	名詞の性の規則と動詞の活用の基礎を理解することができる。	
	2nd Quarter	9th	フランス文化の紹介（パリの歴史的建造物／語彙：祈願の表現） テーマについて学習する	語彙を増やし、フランス文化に興味を持つ。	
		10th	誰かを尋ねる テーマについて学習する	疑問詞の規則の基礎を理解することができる。	
		11th	したいことを尋ねる テーマについて学習する	動詞の活用の基礎を理解することができる。	
		12th	住んでいる所を言う テーマについて学習する	動詞の活用の基礎を理解することができる。	
		13th	何をしているか尋ねる テーマについて学習する	名詞の性の規則の基礎を理解することができる。	
		14th	フランス文化の紹介（パリの公園と通り／語彙：身体部位） テーマについて学習する	語彙を増やし、フランス文化に興味を持つ。	
		15th	総復習・試験準備	名詞の性の規則と動詞の活用の基礎を理解することができる。	
		16th	期末試験		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	前期学習事項の復習、後期学習へ向けてのウォームアップ テーマについて学習する	名詞の性の規則と動詞の活用の基礎を理解することができる。	

4th Quarter	2nd	家族を語る テーマについて学習する	名詞の性と形容詞に関する規則の基礎を理解することができる。
	3rd	年齢を言う テーマについて学習する	フランス語の数字を活用できる。
	4th	時刻を言う テーマについて学習する	フランス語の数字を活用できる。
	5th	フランス文化の紹介（語彙：パリの鉄道の駅／色） テーマについて学習する	語彙を増やし、フランス文化に興味を持つ。
	6th	紹介する テーマについて学習する	動詞の活用の基礎を理解することができる。
	7th	準備日常生活の表現 テーマについて学習する	動詞の活用の基礎を理解することができる。
	8th	既修事項の復讐 テーマについて学習する	名詞の性の規則と動詞の活用の基礎を理解することができる。
	9th	量を表す テーマについて学習する	名詞の性の規則の基礎を理解することができる。
	10th	天候を言う テーマについて学習する	動詞の活用の基礎を理解することができる。
	11th	フランス文化の紹介（語彙：フランスのワイン／曜日） テーマについて学習する	語彙を増やし、フランス文化に興味を持つ。
	12th	比較する テーマについて学習する	名詞の性の規則の基礎を理解することができる。
	13th	過去のことを語る テーマについて学習する	フランス語の動詞の時制の基礎を理解することができる。
	14th	未来のことを語る テーマについて学習する	フランス語の動詞の時制の基礎を理解することができる。
	15th	フランス文化の紹介（ジェスチャー／語彙：曜日） 総復習・試験準備	語彙を増やし、フランス文化に興味を持つ。
	16th	期末試験	

#### Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	70	0	0	20	0	10	100
基礎的能力	70	0	0	20	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0